

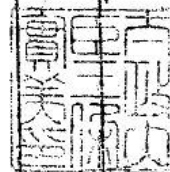
明治七年四月廿九日 開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

何之趣聞届候事

但大藏省へ其便より通達可致事

明治七年五月十二日



甲第十四号

保任社廢止ノ儀伺

當使附屬汽船北海丸ヲ以東京
大坂函館ノ間海上難破濡損請
負並荷為換貸金等ノ方法ヲ設
ケ基本金ヲ交付シ用達榎本六
兵衛等へ申付昨年五月以來保
任社開業為致置候處今般詮議
ノ次第有之廢社申付候條一般
ニ御布告相成候様仕度別紙艸

案相添此段奉伺候也

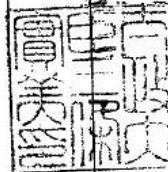
明治七年四月廿九日

開拓次官黒田清隆

太政大臣三條實美殿

伺之趣聞在候條其使有布達可致事

明治七年五月十四日



御布告案

開拓使所轄保任社ニ於テ東京
大坂函館ノ間海上難破濡損請
負並荷為替貸金等取扱来候處
今般同使詮議ノ次第有之處社
候條此旨布告候事

明治七年 月 日

甲第拾五号

浦川支廳ヲ廢スルノ伺

當使鑑管内ヲ六大部ニ區分致シ其一ヲ浦川支廳ニ屬隸シ日高國七郡並十勝國七郡ノ事務同廳ニ於テ管理致シ來候處右地方ハ札幌ノ隣境且未タ人煙繁殖ニ至ラサル處多ク一文廳ヲ設候ハ冗費ニ屬シ候ニ付右支廳相廢シ本廳へ合併致度候條至急御允裁有之度此段奉伺候也